

団地型マンションにおける若年子育て世代への訴求方策の検討

Hマンション

補助事業主体:一般社団法人団地再生支援協会

【エリア】神奈川県
 【竣工年(築年数)】昭和46年(築48年) 【階層】4階建
 【総戸数】152戸
 【単棟型or 団地型】団地型 【大規模修繕実施回数】2回
 【役員数】12~24人
 【自主管理 or 委託】自主管理 【在外区分所有者の割合】-%



課題

団地型マンションにおける自立的 生活が可能で居住環境の整備

・70歳以上が38%を占め、孤独死も発生し、自立的な生活が可能で居住環境を、ハード・ソフトの両面から整備することが必要

若年子育て世代の入居促進

・世代交代を促進しないと団地の存続が危ぶまれる状況にあり、子育て世代の入居を訴求する団地への転換も必要

取組

高齢者の自立的な生活が可能で居住環境整備方策の検討

<ハード面>
 ・住棟のバリアフリー化手法の検討
 ・事業化に向けた検討
 ・その他ハード面における整備手法の検討(孤独死を防止するための「見守りシステム」の導入、電動車椅子のシェアリングシステムの導入等)
 <ソフト面>
 ・高齢者世帯の日常生活を支える平時の支援方策(緊急時の連絡先等の共有)
 ・コミュニティー支援方策の検討(イベントの企画立案やコミュニティーFMの導入可能性の検討)
 ・団地ふる里化支援(団地で生涯を終えた方に対する「お弔い制度」の創設等)

若年子育て世代への訴求方策の検討

・子育て経験のある女性や、若年世帯へのヒアリングを通して、多世代型団地へ向けた整備課題等を抽出、整理
 ・子育て経験のある女性を中心とした「団地再生検討委員会」を設立し、子育て世代の生活ニーズ等に適した居住環境、コミュニティー等の再生について検討

成果

管理組合ホームページの立ち上げ

・若年子育て世代の入居訴求、団地住民相互の情報交流の向上、生活利便性の向上等についての横断的な解決策として管理組合ホームページを立ち上げ
 ・ホームページのコンテンツは、管理組合法人に特化したツールその他、団地全体の魅力等を発信できるように作成



〔ホームページの一部〕



今後の課題

・マンションの管理組合同士で意見や情報を交換できる場づくり
 (特に中層階段室型団地は、僅かな建替え事例を除き、団地再生の理想像と言える事例が存在せず、管理組合同士の情報交換の場も少ない)

水平展開
可能な資料

・H1:「管理組合ホームページ(団地の魅力発信サイト)」
<https://takeyamadanchi162.wixsite.com/takeyama>



〔ホームページのQRコード〕